

広島県中小企業団体中央会 2016年4月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

4月の出荷量は前月比4.7%増加、前年同月比6.3%減少、売上高は前月比5.6%増加、前年同月比6.6%減少となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成28年3月の全国の住宅着工戸数は75,744戸で、前年同月比では8.4%増加、また、季節調整年率換算値では99.3万戸（前月比2.0%増加）となった。利用関係別では、持家は22,274戸で前年同月比4.3%増加、貸家は30,572戸で前年同月比1.1%増加、分譲住宅は22,125戸で前年同月比26.0%増加となった。なお、木造住宅の着工数は41,154戸で、前年同月比7.6%増加となった。

住宅着工の動向は、一昨年4月の消費税増税前の駆け込み需要の影響から持ち直しが見られた後、前年同月比で横ばい傾向であったが、足元では3ヶ月連続の増加となった。引き続き、今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の着工戸数は1,610戸で前年同月比8.2%の増加となった。このうち、持家は449戸で前年同月比4.7%の増加、貸家は692戸で前年同月比4.0%の減少、分譲は469戸で前年同月比40.4%の増加となった。地域別では、広島市は着工戸数770戸で同9.1%増加、東広島市は着工戸数211戸で同39.7%増加となる一方、福山市は着工戸数214戸で同3.2%減少、呉市は着工戸数47戸で同61.2%減少となるなど、地域間でばらつきがある。一部会員からは、昨年末に景気がやや回復傾向にあったが、十分に経済対策が行き渡ったとは言えず、経営状況は依然厳しいとの声が多く、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

厳しい景況感となっている。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

アベノミクスによる様々な経済対策にもかかわらず、国内の景況感の改善は見られず、特に自動車業界においては、自動車メーカーの好決算に対して部品メーカーは国内生産台数の減少、プライスダウン要請、ベースアップを含む労務費アップに労働人口の減少が加わり、大変厳しい状況にある。最近の株価や為替の動向も大変不透明で、円高傾向が続けば輸出台数にも影響が出始め、さらなる生産台数の減少につながる可能性がある。また、三菱自動車の問題も長引けば日本経済の減速を招きかねず、今後消費税率10%への引き上げが実施されるのかも不確実になってきた中で、経済の先行きに不安感が強まってきている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は、全体的に各社横ばいの傾向にある。自動車関連企業の4月は、減少傾向にある。

今期に入り、やや円安傾向にあり、各社決算期の中、経営環境は、先行きが見えず、厳しい状態にある。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

28年4月 3,060m³ (対前年比9.0%増加)

28年3月 3,724m³

27年4月 2,808m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

靱鉄鋼協同組合連合会

三菱自動車の製造ラインの停止により、組合員にも数社、影響が出ている。東部地区では、大企業も含め多大な影響が出ており、今後の見通しも不透明である。

夏頃、後継者不在により、1社休業を予定している。

広島県鋳物工業協同組合

自動車向けは当面好調であるが、一般産業機械向けは先行きが厳しいことが予想される。三菱自動車関連の仕事を受けている組合員は少なく、このたびの影響があったとの情報は今のところ入ってきていない。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区において、ボーイング社向け主翼から後ろの胴体パネル、尾胴、出入口ドアの製作が高操業で、それに携わる協力会社は高操業が続いている。タービン、コンプレッサ、ゴムタイヤ機械は操業が回復しつつあり、関係する協力会社は通常操業の状況にある。

広島県東部機械金属工業協同組合

前年度は、国の補助金を活用し、インフラや設備投資等を行った組合員も多く、売上に貢献したため、今月は、前月比5%減少、前年同月比10%減少となった。

電気機器

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、少し生産が停滞気味であり、前月比変化なし、前年同月比2%減少となった。輸出物件が多少動いており、国内はスマートメーター以外は横ばい傾向にある。

最低賃金を1,000円にとの議論がなされているが、実現されると電機業界の2次下請けは倒産してしまう。賃金の高騰が続いているので、収益や人員確保に大きな問題がでている。人材派遣会社の規制が必要だと思う。人材確保の課題が鮮明である。賃金の問題は深刻である。

多品種小ロットを製造する業界では、ロボット等の導入は難しい。ロボット導入への補助金等の要件を緩和するなど、製造業現場の現状にあった施策をお願いしたい。

輸送用機器

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

4月の国内自動車販売台数は全需が325千台、前年同月比1.6%増加と16ヶ月振りの前年超えと

なった。登録車は前年比7.2%増加と3ヶ月振りの前年超え、軽自動車は同7.5%減少と16ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダ車は同22.7%減少と7ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの3月の全需は1,595千台で前年同月比3.2%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車は同27.2%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

欧州の3月の全需は1,919千台で、前年同月比4.0%増加と3ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車も同9.5%増加と10ヶ月連続の前年超えとなった。

中国の3月の全需は2,438千台で、前年同月比8.9%増加。マツダ車は同8.0%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の3月の海外販売合計台数は118千台、前年同月比3.3%減少で33ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの3月の輸出動向については、輸出台数は、前年比2.8%減少と7ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの3月の国内生産台数は、前年同月比3.2%増加と10ヶ月連続の前年超えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成28年4月の船舶建造許可実績は5隻373,600総トン（前月4隻216,100総トン、前年同月5隻241,600総トン）であった。なお、4隻が貨物船で1隻が油槽船となっており、国内船は1隻、輸出船は4隻であった。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

材料費の高騰により、収益性が悪化している。一部円安により収益性が改善している企業もあるようである。

その他

●家具・装備品

府中家具工業協同組合

3月末で廃業に伴い1社、脱退した。

広島家具工業協同組合

平成27年度主要品目の対前年度比（推定値）

- ・リビング・ダイニング…変化なし（全国平均1%減少）
- ・ベッド…5%増加（全国平均6%減少）
- ・箱物（TVボード、食器棚関係）…5%減少（全国平均8%減少）

組合企業合計 2%増加（全国平均3%減少）

やや回復傾向にあるが、依然厳しい状況が続くと予想される。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

熊本地震においては、同業である熊本流通団地が、建物被害は軽微であったが、商品の破損や流通の停滞による営業面への影響があった。当組合の組合員も、仕入先、販売先の業務再開の遅れによる影響が出ている。

「資材関連」においては、住宅着工件数の2016年度の見通しは、来年の消費税率引き上げの仮

需が見込まれるが、前回の消費税率引き上げで、一定の需要が先食いされているため、大幅な増加は見込めない。

「食品」においては、著変なく、前年同期並みで推移。

「繊維」においては、婦人下着卸業者においては、熊本に有力販売先があるが、中には店舗の半壊や全壊し、営業再開の目処がたっていない状況であり、売上減は避けられない見通しである。

「雑貨」においては、商品全般において、中国向けのニーズが旺盛で、熊本地震による影響は特にないようである。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

4月より、電力自由化がスタートし、ユーザーの安い電気料金への関心は高まってきている。我々としては、引き続き価格だけの選定ではなく、賢く電気を管理するHEMSをはじめ、太陽光設備、蓄電池設備、省エネ商材等を市場へ提案していかなくてはならない。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

新規に1店舗出店があった。既存店は催事やセールにて集客を図った。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国産(九州産)畳表では、い草の先刈りも終わり、今後の水管理・肥料管理が重要な時期に入ってくる。

現在の生育状態は、熊本地震の影響も少なく、株張りも良く、順調に育っている。一方、畳表の価格は横ばいで推移している。

中国産い草でも、既に先刈りを大多数の工場が終えている。生産調整の影響で、全体の量は減少しているが、い草の生育状態は良好で、平年並みと見ている。価格も横ばいで推移している。今後の新草の収穫状況により、変動もあり得ると見ている。

国内では、各地で新作展示会や総会シーズンに入っており、今後の販路拡大に努めている。

小売業

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合

今月の売上は、前月比、前年同月比共に減少した。昨年度末より、主力組合員の一つが店舗での営業をやめられたことが売上減少の一番大きな要因である。そのため、今期は前年同月比減少が続くと思われる。今後は、組合の販売先獲得と既存組合員の販売支援を強化することにより、売上の維持を最大の目標にしていきたい。

協同組合三次ショッピングセンター

対前年比、来店客数は0.08%減少、売上は変化なしとなった。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

4月度の販売実績は前年同月比8.2%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比9.7%減少、BDレコーダー同18.4%減少、音響・車載機器同31.3%減少、冷蔵庫同4.1%減少、洗濯機同9.0%減少、エアコン同1.7%増加、エコキュート同5.7%減少、IHクッキングヒーター同5.8%減少となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

空き店舗に夏頃、障がい者養護施設が開設する。そこで、看板の取り付け作業が行われた。現在開設に向け、認可申請中である。また、3店舗出店に伴う組合賦課金、アーケード維持管理費等の問い合わせがあり不動産会社からあったが詳細は今のところ不明である。

小売店1店舗の店主が病気療養のため、4月末をもって閉店し、組合を脱退。

当商店街を含む呉中央地区の商店街、商工会議所、呉市関係者等による商店街と周辺地区の問題点、活性化に向けた課題等協議する＜仮称＞中央地区活性化会議の立ち上げのため、4月に初会合が行われた。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比15.3%減少、前年同月比変化なし。車検場収入は前月比15.3%減少、前年同月比2.7%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比33.1%減少、前年同月比1.7%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

大型物件ほど材料等の支給が増え、多忙の割に収益は少ない。組合員の中でも積極的な企業と受け身的な企業と2分化している。

建設業

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

4月における工事受注件数は、前月比62.2%減少、前年同月比50.1%減少となった。

4月からの電力小売全面自由化に伴い、新電力の参入を想定していたが、参入企業が少なく、新電気料金の違いが不透明なため、住宅関連工事に対し、慎重になっている状況にある。なお、電化住宅の新築・リフォームは過去最低となっている。

神辺建設業協同組合

新年度に入り、各自治体による公共案件の早期発注が期待されていたが、発注件数は各発注機関共に少なく、景気の鈍化を感じる。5月の連休明けからの発注案件に引き続き注目していきたい。

広島県室内装飾事業協同組合

4月の売上については、前月比54%減少、前年同月比33%減少となった。

前月比で見るとカーテン工事が57%減少、敷物工事は55%減少、壁装工事は51%減少といずれも大幅な減少となった。

前年同月比では、カーテン工事は7%減少、敷物工事は3%増加したが、壁装工事は51%減少と特に大きな減少となった。

工事物件全体では、敷物工事が3%増加と微増であるが、カーテン、壁装工事が減少しており、全体では33%減少となった。内装工事件数は、新年度に入り、公共工事も落ち着いてきたが、大型物件等、依然企業間格差は大きい。現状、未だ内装業界全般に人手不足の状態が続いている。

運輸業

●道路貨物運送業

広島県ロジネット協同組合

4月の荷動きは、例年通り後半型となり、第4週の水曜日から第5週の水曜日まで急激に動き、連休前に落ち着くという動きであった。後半の荷動きは、例年よりやや上回ったようである。

鉄鋼関連は、物余りの状態になってきたようで、生産も減産に傾いたようである。それに伴い出荷も低調となったとみている。

一方、熊本地震から九州向けへの緊急物資配送は、業界としても大きな取組を見せているようである。今後の動きに関心を寄せている。

軽油価格は、3月後半から約3円/L程度のやや高値で推移した。例年4月は10円近く価格変動するが、今月は5円/L程度で収まったようである。今後は現状の価格で推移するとみられる。

松永地区トラック事業協同組合

3月末は年度末ということもあり、通常月に比べると貨物輸送量が集中したが、中旬以降は大幅に減少し、4月以降もこの減少が続いている。松永地区のみの減少かと思いきや、物流業界全体が同じように貨物量が対前年比減少しているようである。

熊本地震の影響で、九州方面への輸送が停滞していたが、段々回復に向かっている。ただし、九州からの荷物は農産品が多いが、そちらは回復するまでに時間を要するようである。

軽油価格は、2月と比べると値上がりしているが、いつまで現状の価格が続くのか、先行きは不透明で、経営的には楽観視できない状態が続いている。

水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比は公的評価(地価公示)報酬の振り込みがあったため、やや好転している。前年同月比では、ほとんど変化はない。

不動産の価格は、上昇傾向が続いている。特に平地の利便性の良い地域の上昇率で高い値を示している。